

Re衣食住を考えよう

第1回

高浜町 ライフスタイルデザイン会議 ニュース

令和4年3月11日（金）に、「第1回高浜町ライフスタイルデザイン会議」を開催しました。町内外の35名の参加者が集まり、ゲストの話聞きながら、「未来の高浜」について話し合いました。

◆ゲスト

石川淳哉さん

ソーシャル・グッド・
プロデューサー



島田由香さん

ユニリーバ・ジャパン HD 合同会社
人事総務本部長



◆会議の目的・概要



この会議は、高浜町の魅力を探り、未来の働き方、暮らし方、生き方、衣食住を考える場として設けられました。第1回目は石川淳哉さん、島田由香さんをお招きし、高浜町の持つ魅力やポテンシャルについて意見交換を行い、グループごとに今後取り組んでみたいプロジェクトを発表しました。

◆野瀬町長挨拶

高浜町はコンパクトな市街地で利便性が高い一方、不便さとも表裏一体です。例えば、魅力的な路地のある風景も、見方を変えると道路が狭く危ないとも言えます。高浜らしさのバランスをどうとっていくかが重要な視点です。本日のWSの意見を参考にしながら、これからの高浜町の魅力づくりを考えていきたいと思っています。



◆石川淳哉さんのお話

- ・地域課題解決に向けた取組をお手伝いしています。
- ・様々な主体が参加し、各々のやり方を駆使し、社会課題を解決していくことをコレクティブインパクトと言います。いかに仲間を作りながら、コレクティブインパクトを起こしていくかが重要です。
- ・吉田松陰先生の言葉に「知行合一」という言葉があります。人は情報を得てもなかなか実践につなげることができない。みなさんは実践できる人になってほしいと思います。
- ・今後、コロナの影響もあり、東京から3割の人が流出すると言われていています。その3割をどこが受け入れるのか、どこが魅力あるまちとして選ばれるのか、ということが今後のポイントであることを念頭におきながら、この後の意見交換に取り組んでいただきたいと思います。

◆島田由香さんのお話

- ・「well-being」という言葉を聞いたことがありますか？心も体も社会的にも満たされている状態で、継続的幸せという意味です。
- ・人間はネガティブ感情は忘れがちですが、ネガティブな感情をしっかり受け止めることが、ポジティブ感情を高めることにつながり、結果として「well-being」を高めることにつながります。
- ・「well-being」が高い人は健康で長寿、創造性が豊か、レジリエンス力が高いと言われており、良いことだらけ。
- ・「well-being」を高めるには「PERMA」、
「well-being」を保つためには「SPIRE」が重要になります。

「PERMA」

Positive (ポジティブ、前向き)
Engagement (没頭、夢中)
Relationship (良好な人間関係)
Meaning (意義、意味)
Accomplishment (達成感)

「SPIRE」

Spiritual (幸せな人生を感じている)
Physical (心身ともに健康である)
Intellectual (深い学びがある)
Relational (他者との建設的な関係)
Emotional (感動、楽観的でレジリエンス)

◆グループワーク

町内外の参加者がグループに分かれて行ったグループワークでは、「知行合一」の話にふれ、「情報を得て、学ぶ人が多いものの、それを実践につなげていく人はそれほど多くない」という意見や、「廃炉を見据えた将来的な高浜の発展」、「選ばれる町になるためには」、「高浜は元気でユニークな人が多い」などの意見が出されていました。



◆本日の意見を踏まえて出た取り組みたいプロジェクト例

本日のグループワークを踏まえて、今後、取り組んでいきたいプロジェクト例が出されました。次回以降、これらの意見も踏まえつつ高浜町のまちづくりを考えていきたいと思えます。

- 20年後、30年後の共通のビジョンづくり
- ネガティブは宝！⇒社会課題の種
- 次の産業をつかっていく（未来の高浜の産業）
- どのような移住者をターゲットにするか
- 高浜人研究所
- コレクティブインパクトの場を継続していくためのしくみづくり

